

高橋 久光 議員（代表質問）

1 今後の滑川市のまちづくりについて市長の考えを聞く

- (1) 本市の市街地は、「あいの風とやま鉄道滑川駅前」「富山地方鉄道中滑川駅前」あるいは「さらしや通り」「常盤町から橋場、瀬羽町高月まで」の旧北陸街道沿いだったと思う。現状は、特に「あいの風とやま鉄道滑川駅周辺」「富山地方鉄道中滑川駅周辺」についてそれぞれ市有地もある中、早急に整備を考えるべきでないか。
- (2) 富山地方鉄道中滑川駅前用地（JA跡地）について、我々議会の特別委員会で先頃提案書を提出したところであるが、具体化に向けていつごろまでに整備するか。
- (3) 今西加積地区（沖田新地内）に建設中の大型店の進出について、当地は我が市内で一番の商業集積地となっている。この点についての旧市街地との相互関係に影響はないか。また、その対策、対応はどのように考えているか。
- (4) 今建設中の大型店の開発に関して、平成11年に滑川市まちづくり条例が制定されていると思うが、その条例には該当しなかったのか。

2 我が市の観光について

- (1) 我が市唯一の観光資源であるほたるいか観光をどのように考えるか。
- (2) 観光遊覧船キラリンの有効活用（運用）について、富山湾一円もしくは近県までもの運用ができるよう、努力すべきでないか。また、キラリンの安全対策は万全か。
- (3) 我が市の観光をホタルイカや観光船に固持せず、他市にない施設や史跡等を新幹線効果に乗せたPRが少ないのではないかと伺う。

3 本年の農作物（米）の作柄と鳥獣対策について

- (1) 本年の夏期高温における米作の影響はどうか。(今後収穫期を迎える「コシヒカリ」、また本年から作付されている新種、「富・富・富」の作柄は)

- (2) 毎年、毎回取り上げている鳥獣被害の現状は。

古沢 利之 議員（代表質問）

1 防災・減災対策について

- ・ 7月5日の豪雨から何を教訓とするか。経過を検証し、今後に活かす必要がある。
 - ア 実際の避難者数が34人。この人数をどうとらえているか。
 - イ 避難準備・高齢者等避難開始の発令時期は適切だったか。
 - ウ 住民への周知に問題はなかったか。緊急速報メール、防災行政無線、CATV、広報車等での周知は適時適切だったか。とりわけ高齢者等避難に困難を抱える方への対応はどうだったか。
 - エ 町内会等各種団体、関係機関との連携はどうだったか。
 - オ 洪水ハザードマップの見直しが必要ではないか。
県は改正水防法に基づいて、県管理の河川の洪水浸水域を指定し、公表するとしている。

2 会計年度任用制度について

- ・ 平成32年度から非常勤職員に会計年度任用制度が始まると聞いている。条例制定が必要になると思うが、基本的な考えを問う。
 - ア 検討を進めていると思うが、条例制定はいつごろを考えているか。
 - イ 処遇はどうか。（給与、各種手当）
 - ・フルタイム会計年度任用職員
 - ・パートタイム会計年度任用職員
 - ウ 会計年度ごとに、いわゆる雇止めにならないか。
 - エ 正規職員を減らし、その代替になってはならないと考えるがどうか。

3 種子法廃止に関連して

- ・ 種子の安定供給を都道府県に義務付けてきた主要農産物種子法が3月末で廃止された。
 - ア 基本認識を問う。安定供給に影響はないか。
 - イ 種子法の復活、あるいは県に種子法の考え方に基づく条例の制定を市としても求めるべきではないか。

4 子育て支援について

- (1) 子ども医療費無料化を拡大しないのか。

(2) 学校給食費無料化、または助成する考えはないか。

角川 真人 議員（一般質問）

1 防災対策について

- (1) 災害時の避難所開設をスムーズに行う体制はきちんとできているか。また、場所の周知は十分か。
- (2) 避難所に指定されている施設の、トイレやバリアフリー等の環境はどのようなになっているか。改善も考えているか。
- (3) 避難行動要支援者の把握と、介助のための体制は整っているか。具体的な取り組みはあるか。
- (4) 以前より、有金・下梅沢線に沿って流れる用水が、大雨のたびにひどく増水している。そばには介護施設もあることから、早急に対策をとる必要があると思うがどうか。

2 平和行政について

- (1) 戦争や核兵器について考える機会として、再び滑川市で原爆写真展の開催を。
- (2) 子どもたちに平和について考えてもらうために、原水爆禁止世界大会へ子どもの派遣をしてはどうか。

中川 勲 議員（一般質問）

1 災害対策について

- (1) 水害・地震・雪害・台風などの災害に対する備えは万全か。(防災訓練など)
- (2) 気象情報を的確に知らせる手段は何か。ケーブルテレビNet 3の活用はできないのか。
- (3) 視覚・聴覚障害の方への速報、避難体制はできているのか。
- (4) 身の安全を確保する、このことを優先して日常的に備えをしておく啓発をすべきと思うが。
- (5) 日頃から市内を流れる河川、排水路、農業用水路の点検整備をしているのか。また、住宅団地などの調整池の確認もすべきと思うが。

2 働き方改革について

- (1) 組織をつくって働き方改革をしなければならないとのことであったが、進んでいるのか。
- (2) 小中学校の先生の勤務時間状況はどうなっているのか。勤務時間の管理はどうなっているのか。
- (3) 障害者雇用の水増し問題について、今後どのようにされるのか。企業の見本となるべき市役所と思うが。

3 滑川市の活性化の推進について

- (1) 観光を力強く発信する戦略プロジェクトの設置は考えられないか。(ほたるいか観光とともに宿場回廊等を積極的にPRする)
- (2) 広域圏観光の推進は進んでいるのか。
- (3) 富山湾岸クルージングの積極的なPRが必要ではないか。

(4) 地元で産したものは地元で消費する、徹底した具体案の推進はできないか。

尾崎 照雄 議員（一般質問）

1 安全安心について

- (1) 文科省から依頼のあった「学校施設におけるブロック塀等の安全点検等状況調査」において、安全性に問題のあるブロック塀等を有する学校は何校あったか。
- (2) 「学校防災マニュアル」に基づき通学路を確認されたと思うが、結果はどうであったか。
- (3) 安全性に問題のある通学路をどうするのか。
- (4) 通学路に面している民間のブロック塀等の撤去費用を支援すべきと考えるがどうか。
- (5) 市内小中学校の体育館に冷暖房装置を設置してはどうか。
- (6) 熱中症対策として、小中学校の運動会の開催日を見直してはどうか。

2 A E D について

- (1) 市内に設置してあるA E D装置は何台で、そのうち 24 時間対応のものは、何台あるか。
- (2) 小中学校に設置してあるA E D装置を屋外に設置して、24 時間対応すべきではないか。

3 ドクターヘリについて

- ・ 先日、上市町で小学校にドクターヘリが着陸しようとしたが、校長と教頭が不在だったため、他の場所に変更したことがあった。本市でも起きないようにすべきではないか。

4 市民サービスについて

- ・ あいの風とやま鉄道株式会社について。
ア 現在の滑川市が拠出している経営安定基金と保有株式について

- イ 株主として、経営状況をどう見ているか。
- ウ 駅に設置してあるトイレの便座を暖房便座にすべきではないか。

青山 幸生 議員（一般質問）

1 商品開発と販売について

- (1) 海洋深層水天日塩の進捗はどうか。
- (2) プロトン冷凍ホタルイカは何折売れたのか。
- (3) 「キラリン光の旅」の増刷、販売の進捗はどうか。
- (4) 深層水トマトの生産、ブランド化の進捗はどうか。

2 防災について

- (1) 7月5日の上市川の増水の対応について、避難準備情報になった理由は何か。
- (2) 市指定緊急避難場所の精査は今後どう進むのか。
- (3) 町内会・自治会の自治防災マニュアル作成を推進してはどうか。

3 学力向上について

- (1) 伊東教育長の任期終了により、この4年間の取り組みの総括を伺う。
- (2) 全国学力・学習状況調査の結果について、どのように考えているか。
- (3) 土曜授業とアクティブラーニングの効果はどう認識しているか。

浦田 竹昭 議員（一般質問）

1 公共施設のあり方について

- ・ 公共施設のあり方に関する提言書、並びに公共施設等総合管理計画書より
 - ア 市民会館大ホールの今後の方針決定の時期について
 - イ みのお温泉テニス村の計画的な長寿命化、並びに東部山麓道路整備との関連の目途について
 - ウ 東福寺野自然公園研修センターの方針決定の時期について
 - エ タラソピアの施設のあり方の方針決定の時期について
 - オ 浜加積地区福祉センターの浴場施設の存廃の検討状況について

2 公共施設設備等の補修・修繕について

- (1) ゲートボール場の雨漏りの修繕について
- (2) 市民交流プラザのテレビの修繕について
- (3) 市役所東側の池の噴水並びに池機能維持について
- (4) 市所有のバスのエアコンの修理について
- (5) 東加積小学校のストーブの補修修繕について

3 市職員の適正人員・配置・育成について

- (1) 職員の人員（正職員、嘱託職員）、超過勤務の現状、並びに産休等長期休暇の人員の現状について
- (2) 現在の職員の人員で適正人員と考えられるか。また、現在の組織、業務内容で職員の適性配置と考えられるか。
- (3) 超過勤務を減少させるよう、業務内容並びに服務規程の見直しが必要ではないか。

- (4) 現状の組織、業務内容に合わせ、職員数並びに配置の見直しが必要ではないか。
- (5) 職員の職能教育、並びに資格取得の現状について
- (6) 職能教育の推進、並びに資格取得の推奨について
- (7) 現状の職員並びに組織体制で、市民サービス、住民サービスの満足度が十分だと考えられるか。

岩城 晶巳 議員（一般質問）

1 滑川市の安全安心について

(1) 防災行政無線のデジタル化について

- ア いつごろから着手するのか。
- イ 予算的にどの程度になるのか。
- ウ 防災行政無線は現在市内にいくつ設置されているのか。
- エ 現在聞こえ難い場所がある、今の防災行政無線の設置場所をそのまま利用することになると思うが、デジタル化で聞こえ難い場所が解消されるわけではない。現在聞こえ難い場所については位置を変更するか、増設も必要ではないのか。

(2) 防災ラジオについて

- ア 防災行政無線のデジタル化で防災ラジオはどうなるのか。
- イ 在庫はまだあるのか。
- ウ 在庫があるならば、あっせんをしているのか。
- エ 利用者から雑音が入り聞きづらいと聞くが、把握しているか。

2 新規採用職員について

- ・ 滑川市を受験して、希望を持って市の職員になる皆さんであり、市の大切な財産になっていくこの新職員が、十分に力が発揮できるよう育てていってほしい。
 - ア 今年の応募者数は何人なのか。
 - イ 第2次試験は何人受けたのか。
 - ウ 新卒と社会人採用の割合は。
 - エ 保健師をここ毎年複数人採用しているが、それほど毎年退職者が多いのか。
 - オ 調理員を5名採用しているが、その理由は。
 - カ 今年補欠採用しているが、今までの反省からか。

大門 良輔 議員（一般質問）

1 災害時の対応について

(1) 避難場所について

ア 7月5日の豪雨で上市川の水位が上がり、避難所を田中小学校と南部小学校の2カ所を開設されたが、日医工スポーツアカデミーと滑川高校を開設しなかった理由について

イ 避難所が開設された際、避難弱者の方をどのように避難所へ誘導させるのか、これについて市の見解は。

ウ 高齢者や障害を持った方が最初に避難をしてくることを想定して、避難所の開設と同時に保健師の配置をお願いしたい。

(2) 情報の共有について

ア 避難所を開設して避難してきた方の情報の必要性を感じた。現状、避難所となる体育館ではテレビを見ることができない、Wi-Fiもつながらない状況であるが、これについて市の見解は。

イ 教育委員会で各学校にタブレットを配布するに当たり、Wi-Fiの整備も同時に検討をしている最中だと思うが、どこまでの整備を検討しているのか。また避難所となる体育館の整備は検討の中に入っているのか。

ウ 緊急事態が起こった場合、市のホームページの対応について

(3) 防災士について

ア 災害が起きた際、各地域での避難や避難所運営など知識や技能を活かしリーダーとなるのが防災士だが、地域とのつながりやネットワークは十分と考えるか。

イ 防災士の人数は足りていると考えているのか。

ウ 各消防団や町内会に防災士がいないところには、各1人、防災士の資格を持つ者をつくるよう促してみてもどうか。

(4) 避難訓練について

- ・ 「避難準備・高齢者等避難開始」を発令し避難所が開設されたが、戸惑いもあり混乱も多くみられた。このことを受け、今後の避難訓練のあり方について市の見解は。

(5) ハザードマップについて

ア 県が新たに浸水想定区域図を作成し、今年度中に完成を目指していると伺っている。現在は24時間総雨量273.8mmを想定しているが、

見直しになる浸水想定区域図は、どれだけの降雨量を想定しているのか。

イ 県は、滑川市内のどの河川の浸水想定区域図を変更する予定としているのか。

ウ 浸水想定区域が変わればハザードマップを変更するのか。

2 子どもや子育ての環境整備について

- 子育て世代包括支援センターについて

ア 子育て世代包括支援センターができることにより、何が変化するのか。

イ 子育て世代包括センター設立に向けて進捗状況を伺う。

(ア) 開設場所やどこまでの機能の集約を検討しているのか。

(イ) 各関係機関との連携について

(ウ) 子育て世代包括支援センターの開設により、新たに行う支援や滑川独自の支援方法を検討しているのか。

(エ) 新たな人材の雇用

脇坂 章夫 議員（一般質問）

1 住宅取得支援制度について

- (1) 「まちなか住宅取得支援事業」について伺う。
- (2) 転入者・居住者の住宅支援について伺う。

2 小学生の通学問題について

- (1) 文科省の「重いランドセル」対策としての「置き勉」を認める通知について伺う。
- (2) 全小学校の水筒持参と、飲み干したときの補給について伺う。

開田 晃江 議員（一般質問）

1 アクアポケットの利活用について

- (1) 富山湾の深層水は滑川市や入善町や射水市新湊でも利用されているが、同じ深層水でも利用形態は違う。どのような違い及び特色があるのか。また、深層水汲み上げ設備の設置費用、維持管理費用、及び施設全体の収支はどのような状況か。
- (2) 深層水の事業規模が大きくなる理由は何か。深層水の供給量に課題があるのか。
- (3) 深層水の利用拡大について、入善町は民間企業、射水市新湊は私立大学が積極的に進めているが、滑川市はどのような体制で利用拡大を図る計画をしているのか。
- (4) 現状の分析はされているか。
 - ア 顧客先はどのような業種か。今後のめどはどうか。
 - イ 事業所購入の目的など把握しているか。
 - ウ 深層水トマトは何年をめどに出荷ラインに乗せられるか。水耕栽培かと思っていたが土耕栽培と聞いた。違いはどのようなところか。
 - エ 深層水を6段階に分けることと売上増の関連性はどのように考えているか。

2 公共施設の維持管理体制について

- (1) 公共施設の廃止や存続を含めた見直しについては、高岡市が市民ぐるみで進めていると聞いているが、滑川市において、公共施設のあり方を見直さなければならない時期がくるとすればどのような状況になったときと考えているか。また、その状況はいつごろ訪れると予想しているか。
- (2) 何年後になるかわからないとしても、必ず対応しなければならないのであれば、早めに体制を整えるよう検討しておくことが重要と思うが、どうか。
- (3) 市内にある役所がかかわる財団や株式会社、公園や協会等、全体を見渡すように、一つの施設管理公社にすることが考えられるが、どうか。このようなスケール拡大等により得られるメリット、あるいはデメリット

トはどうか。

- (4) 例えば、公園や道路には管理維持班をつくり、深層水関係は現在の責任者のノウハウが必要なので、株式を外して公社の中に一つの分野として位置づける。スポーツ・健康の森公園や屋内運動場、野球場などは施設の管理等が考えられる。これらを検討する体制が市に必要ではないかと思うがどうか。
- (5) 少し前の新聞報道の中で、圏域事業の必要性が発表されていた。その準備も踏まえて今から着手してはどうか。

3 老人クラブの活性化について

- (1) 高齢者の医療費の削減、健康寿命の延伸、友達の輪をつくるための仕掛け等、老人クラブの必要性をもう一度見直すために老人クラブ（悠友クラブ）の加入促進キャンペーンを実施してはどうか。
- (2) 滑川市の加入率はどれほどか。平成31年3月の目標人数達成率は、どれくらいか。
- (3) 「滑川型」の老人クラブ組織の設立を検討してはどうか。町内会壮年部を「滑川型」として補助金対象にする等。
- (4) 加入率と医療費の関係はどのようになっているか。

4 障がい者雇用について

- ・ 採用時点で障がい者手帳を持っている人、「何名」と枠組みを定めることはできないか。

大浦 豊貴 議員（一般質問）

・ 高齢化社会対応及び市内連携の体制について

- (1) 2018年4月1日現在、滑川市の高齢化率は29.2%と、富山県内他市と比べて多少低い現状にあるが、地区別の高齢化率ではばらつきがみられ、長期的な高齢化と人口減少が社会の地盤を崩していくことが懸念されている。本市の重要課題にも支援体制整備を含む、生活課題に地域全体で取り組むことを掲げているが、市民ひとり一人の認知度についての見解はどうか。また、市民の問題意識について調査されたことはあるか。
- (2) これまでも滑川市地域福祉計画を基に活動の促進が行われてきたが、まずは問題意識を根付かせていかなければ、地域社会におけるつながりも支え合いの強化も進まないと考えるが、周知していくことへの必要性についてはどうか。
- (3) 東地区、西地区の高齢化率は35%を超え、高齢者ひとり暮らし登録者数も全地区計301名に対し合計168名と50%を超え、高齢者のみの世帯割合も、全地区計23.4%に対し東地区32.5%、西地区32.2%と非常に高い現状にある。高齢者人口も市全体の9,722名に対し、2地区で3,320名と3分の1を占めている。今後、更なる高齢化が急速に進むことが考えられるが、地域福祉計画では地区別特性は把握されているが、地区ごとの対応策が計画されていない。重点地区としての認識・対応策についてどうか。
- (4) 高齢化社会に伴う高齢多死課題の認識について
- (5) 地域包括ケアシステムの構築が進められているが、高齢多死時代に備え、人生の最終段階ケア整備が必要ではないか。
- (6) 市民にとっての身近な相談相手であり、見守り役である民生委員児童委員の活動評価、これからの制度維持への見解を問う。
- (7) 高齢者人口が増えることによる一人住まい世帯の増加、平均寿命が延びることによる認知症患者の増加など、これまで以上にボランティアにもかかわらず、責任や重大な役割を担っている民生委員児童委員の負担について見解を問う。

- (8) 民生委員の負担軽減や、なり手不足に対して「民生委員協力員」等の制度について全国で設置の動きが進んでいる。全国民生委員児童委員連合会でも活動を支える仕組みとして、その利点や課題、各地の取り組みの分析が検討されている。高齢者の主体的な地域社会への参画を促進するとともに、相互扶助その他の機能が活性化するように制度として確立できないか。
- (9) 社会保障制度を最終的に支えるのは人の力であり、人材の養成・確保は最重要課題である。都道府県・指定都市市民児協のアンケート意見で、委員の経済的負担、心理的負担への対応や活動費の在り方などが課題とされた。今後の高齢化社会進行による課題が深刻化する前に、セーフティネットの構築強化へ今後の実情に応じた活動費支援も検討していく必要があると考えるがどうか。
- (10) 地域福祉計画にあるセーフティネットの構築、行政の取り組みとして「福祉部局に限らず、住宅部局や教育部局など、市役所内での連携を図るとともに、社会福祉協議会、病院・医院、ハローワークなどをはじめとする各種の関係機関との連携を図り、重層的な課題への対応の強化を図る」とあるが、高齢者・障害者・要援護者・高齢者世帯などの情報データの共有は図られているか。各部局、関係機関とのデータ一元化はできないか。
- (11) 高齢者世帯は空き家予備軍であり、空き家をこれ以上増やさないこともこれからの課題にあると考えるが、当局も住宅部局は滑川市空家等対策計画において、対策の方向性に「現在住んでいる住宅を空き家等にしないうという予防に力点を置く」とあるが、調査方法の整備はどのように進行しているか。所管による訪問など情報収取、啓発は計画通り行われているか。
- (12) 高齢者のみの2人以上世帯状況も今後更に注視し、体制強化が必要ではないか。
- (13) 空家等対策計画の(2)運用上の課題に「関係部署や関係法令所管課が把握した情報の共有・体系化が不十分である」や、「相談及び情報提供の窓口機能が弱い。管理不全による各種問題への対応についても、その都度、関係法令所管課が連携しつつ行っており、対応・体制が体系化されていない。」と認識されているのであれば、庁内、関係団体に活用可能なデータを所持されていると認識しているが、これらにより対応・体制が体系化できないか。

竹原 正人 議員（一般質問）

1 子どもたちの安全・安心について

- (1) 通学路の安全点検の結果を踏まえ、今後の対応は。
- (2) 通学路における緊急点検は、地震に対するものであったが、台風や豪雨に対する安全点検は、どのように行っていくのか。
- (3) 通学路に限らず、学校敷地内の安全点検、安全対策は行っているのか。
- (4) 学校における熱中症対策は万全だったのか。

2 災害に対する備えと対策について

- (1) 最近の豪雨被害、台風被害を踏まえ、本市の防災、減災に対する取り組みは。
- (2) 早月川、上市川の更なる治水対策の必要性和洪水ハザードマップ作成に対する市の見解は。
- (3) 最近の豪雨災害は他人事ではないと考える。本市においても抜本的な対策が必要と考えるが、時間雨量の想定を見直した場合、用・排水路の改修など、改善が必要だが、今後の取り組みは。

3 実質公債費比率の推計及び中期財政計画について

- (1) 中期財政計画の中で、地方譲与税等が平成 32 年度より消費税増税の影響に伴い増加するということであった。来年度より国が施行する、森林環境譲与税についても譲与税増額の対象となるが、どう考えているのか。
- (2) 地方債について、平成 33 年度には辺地債を計画しており、増額するという全体委員会での説明であった。どういうことなのか。

4 森林環境税（仮称）及び森林経営管理制度について

- (1) 平成 31 年度から施行される森林環境譲与税（仮称）について本市ではどのように考えているのか。
- (2) 林業の振興にどうつなげていくのか。
- (3) 森林経営管理制度についての活用について今後の取り組みは。

5 子ども子育て支援計画について

- (1) この計画のニーズ調査とは、どのような内容なのか。
- (2) 5年毎の計画見直しだが、本当のニーズをとらえるのであれば、毎年調査すべきと考えるが見解は。